

マイクロスコープは歯科衛生士と歯科医師とのインターフェイス

鈴木龍

医療法人社団八龍会すずき歯科医院

チーム医療の重要性が言われていますが、歯科ではチームになかなか出来ません。歯科医師は歯科衛生士の補助につくことはありません。自院は臨床教育を目的とし、私自身がインプラントの補助につき指導します。

感じる事は勤務医が何をやっているかよく分からない事です。インプラントの誤差は0.2mmと考えていますが、1mmの違いが補助者には分からないのです。手術後、診療室を歩いているとマイクロスコープチームが根管治療を楽しそうに行っていました。同じ映像から共有する情報、治療の共有、そしてチームとなっていける歯科治療が楽しく感じるのかもしれませんが。

ハード面からだけでなくソフト面からも、マイクロスコープは歯科衛生士と歯科医師をつなぐインターフェイスと認識しています。

そのためには歯科衛生士も歯科医師と同レベルの知識と技術を必要とされるのです。今回はチーム医療でのマイクロスコープの取り組みについて紹介します。

【略歴】

東京歯科大学 卒業

すずき歯科医院 開業

医療法人社団 八龍会 設立

現在に至る

(社)日本口腔インプラント学会 (専門医)

JAMD 一般社団法人 日本顕微鏡歯科学会

(社)日本補綴歯科学会

(特定非営利活動法人)日本歯周病学会

日本歯科保存学会

I C O I (認定医)

近未来オステオインプラント学会 (I P O I) 指導医・認定医・東海支部長

J S O I 臨床系研修施設口腔インプラント生涯研修センター

社会歯科学会

歯科医師臨床研修プログラム責任者 2009.12

歯科医師臨床研修指導医講習会開催責任者 2017.12

京セラインプラント長期コースインストラクター